

2019年3月1日発行
第604号(通算)
発行:奇数月1日
会員購読料:1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

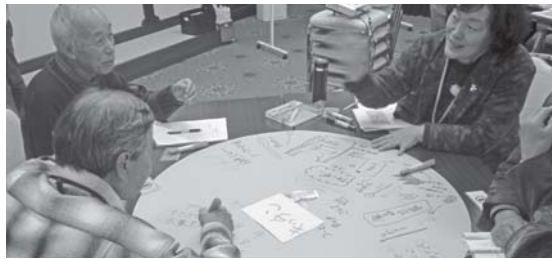
佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511
振替口座01380-2-27511
URL http://www.kanhokyo.or.jp/

脱温暖化推進員フォーラム2019開催 活動紹介や意見交換で活性化ねらう



グループワークの前に担当者が各テーマの内容を紹介(右)、熱心に意見を整理・交換する参加者(中)、取り組みを発表するリーダー推進員(下)

2月8日に、「脱温暖化推進員フォーラム2019」を、サテライトキャンパスひろしまで開催し、県内各地から約70人が参集しました。このフォーラムは、県内で活動している地球温暖化防止活動推進員を中心に、地球温暖化対策地域協議会および公衆衛生推進協議会関係者が一堂に集まり、互いの活動紹介や意見交換を通して、事業活性化を図ることを目的に毎年開催しています。



午前は、広島県環境政策課主査・福富様から、「広島県の地球温暖化対策について」私たちの役割と期待されていること」と題して、県の取り組みの方向性と、低炭素社会の実現に向けて、地域リーダーで

ある推進員に期待する役割をお話いただきました。その後、推進員として長年にわたり活躍されている「リーダー推進員」のみなさんを紹介し、その中から代表で、青山範子さん、川上望さん、小林哲仁さんに、工夫を重ねながら活動の輪を広げてきた経験をお話いただきました。



午後には、①国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)と私たちの取り組みのつながり②「光熱費節約大作戦」をもっと広めるためにできること③「マイクプラスチック問題」を知り、何ができるか」の3つのテーマに分かれてグループワークをおこないました。

温暖化をめぐるトレンド情報を知り、学びを深め、これからの自分たちの活動を考えるための時間として、意見交換をおこないました。グループワークの最後には、参加者全員が来年度に向けて

環境協公益部門の第3期中期経営計画 人材養成と事業開発で組織強化

地域活動支援センター・脱温暖化センターひろしまは、当協会の公益事業部門として、公衆衛生推進協議会(以下、公衛協)を主体としたコミュニティにおける健康づくり、環境づくりを支援しています。2019年度からスタートする第3期中期経営計画は、2013年度から10年間の第1次経営ビジョンの総仕上げとなり、2019年度から2022年度までの4年間の計画です。

【人材の育成】
テーマごとの専門的な研修に加え、7月豪雨災害の教訓を元に減災・防災・復興をテーマとした公衛協活動として実施できる取り組みについて研究し、専門研修として開催します。

地域活動支援センターは、これまでと同様に、人材養成と事業開発を通じて、公衛協組織の強化と活性化を図ります。主な実践項目は次のとおりです。

【モデル事業の推進】
これまでの全県共通事業が10年目を迎えようとするなかで、健康分野、環境分野、地球温暖化対策のそれぞれでモデル事業を立案し、事例研究をして、新たな全県共通事業の芽だしを図ります。

【研修事業の推進】
初任者を対象とした基礎研修の重要性に重きを置き、参加を促す動機付けを強化すると共に、夏季大学などの集合研修のあり方を見直していきます。

【情報発信】
幅広い年齢層に情報を発信できるよう、SNSなど多様な媒体を利用した情報の発信に取り組みます。発信者を増やすことで双方向性を高めるため、推進委員からも発信できる体制の充実にも取り組みます。

(地域活動支援センター)

さんせんか 琴線歌

瀬戸内の島の景観という、多くの人が段々畑と里山を想像されるだろう。1970年から2000年までの資料で、瀬戸内海の島の景観を分析したところ、将来、「しまなみ地域」では果樹の栽培で景観が維持され、一方で淡路島を中心に農業の衰退から放棄景観になると予測した。

島の景観と本州四国架橋

た▼本州四国架橋事業は、1998年には、1998年に神戸鳴門ルート、1999年には尾道今治ルートが開設され、1988年開通の児島坂出ルートを入れて全三ルートとなった。児島坂出は関連する島も少なく、鉄道を伴う大量輸送が目的で島の景観には影響はほとんどなかった。他の二ルートについて先ずの予測との関連を検証した。尾道今治ルートは「よしみち」設計となつて

ら世界のつり橋「明石海峡大橋」を眺望する道の駅が建設されたりしていた。ここでも「よしみち」が実現していた。当初懸念していた島の景観の衰退は起きていない。異なる目的の設定だった三ルートはそれぞれ役割を果たし、かついずれの島でも活力を引き出したことに驚きしている。

(広島大学名誉教授 中越信和)



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

